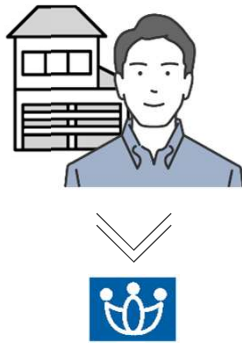




JEEDでは、民間企業等で勤務を経験した中途採用者が数多く活躍しています。中途採用者は、多彩なキャリアで培った経験を活かし、組織に新しい価値観を与え、専門的な知識やスキルで業務を支えています。複雑化する業務課題を解決するため、多様な人材を募集しています。

## ■ 前職：ハウスメーカー営業 (JEED在籍8年以上、現業務 企画)



Q.前職について教えてください。

A. 建築資材の営業と受発注を行っていました。また、建築資材等を製造する自社工場を抱えていたこともあり、製造現場との調整役をしていました。

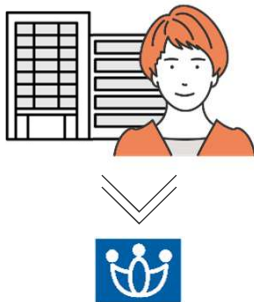
Q.前職で学んだことについて、JEED業務で活かされていることを教えてください。

A. 前職では営業と工場の生産現場との間で調整作業を行うことが主な業務でしたが、その営業や折衝に係る経験は今の業務でも活かされています。現在は、JEED本部の企画部門において、厚生労働省や総務省とJEED内の各業務部門との間に立って、組織の目標設定や業績評価に携わる業務の総合調整を行っています。それぞれの立場で考え方が異なる部分をすり合わせながら、利用者にとってよりよい組織の在り方となるための目標策定や業務実績の管理を行っています。関わる商材や民間・公という組織の違いはありますが、前職と似た総合調整の業務に携わっていますね。

Q. JEEDで活躍している中途採用者の特徴を教えてください。

A. 全体的に視野が広い人、言い換えればアンテナが高い人です。一つの業務に固執せず、横断的に業務を俯瞰できている人は強いと思います。自分の業務と他者の業務に線を引き引くのではなく、人と人、部署と部署の間に入って、様々な課題に対しどのように対処できるかを考えながら動いている人を見ると、その人の経験値が見えてきますね。そういう人の周りには、自然と情報も人も集まっている印象です。

## ■ 前職：金融機関の営業 (JEED在籍5年以上、現業務 職業能力開発支援業務)



Q. 前職について教えてください。

A. 金融機関の営業を行っていました。

Q. 前職経験で学んだことについて、JEEDの業務で活かされていることを教えてください。

A. 前職の金融機関では、企業の代表などを対象とした金融商品の営業を行っていました。カスタマーは分単位で動くようなお忙しい方が多いため、短い時間で要点を簡潔に説明することが特に求められました。そこで培ったプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力、資料作成能力はJEED業務でも活かされています。一方で、前職では富裕層へのサービス提供が中心であり、顧客が限定的だったとも言え、もっと幅広い利用者のための仕事でした。

い、もっと公共性の高い仕事をしたいと考えていました。そのような思いからJEEDの入構を決め、現在の仕事のモチベーションにもなっています。直接的な業務スキルではありませんが、民間企業を経験したからこそ、改めて自分自身を見つめ直して気づいた、JEEDの働き甲斐だと考えています。

Q. JEEDで活躍している中途採用者の特徴を教えてください。

A. 業務だけでなく、社会情勢に対するアンテナが高い人ですね。JEED内部だけではなく、マスコミから見る経済情勢、トレンド、利用者や利用者の取り巻く環境を俯瞰的に見て、動ける人です。一見関係のない事柄からもアプローチしたり、多角的な意見を発信していける職員は組織に新しい価値観を与えてくれます。そのようなJEED内でイノベーションを起こし、自分の殻を破り続けられる、前向きなモチベーションを持っている人が活躍している印象です。

Q. JEEDの職員に必要な素養はなんですか。

A. 今後求められる能力としては、分析力だと思います。データサイエンティストやアナリストのような素養のある方は、数字から色々な社会課題を紐解き、客観的かつ具体的な課題解決策を提示できるのではないのでしょうか。特に今後IT化が進み、ビッグデータを取り扱う場面が増えることを考えると、そのような経歴をお持ちの方はJEEDでも活躍できると思います。

## ■ 前職：商品管理・ロジスティックス (JEED在籍15年以上、現業務 経理)



Q. 前職について教えてください。

A. 飲料の商品管理、ロジスティックスでの受注・営業事務を行っていました。

Q. 前職経験で学んだことについて、JEEDの業務で活かされていることを教えてください。

A. 前職の飲料の商品管理では、天候やトレンドを見越して需給バランスを把握し、行き過ぎた在庫超過とならないよう、緻密な管理能力が求められていました。また、些細な受発注ミスが会社に大きな損害を与えることになるので、常に数字に追われ続けていました。これらの前職で得た数字を読み取る能力や状況判断から次の展開を先読みする力は、JEEDの業務でも活かされています。JEEDの業務、特に経理業務においては数多くの機材や備品を取り扱うため、適正な予算管理、物品管理が求められます。JEEDでは公金を取り扱っているので、より無駄がなく、適切な調達ができるよう、緊張感をもって業務に取り組んでいます。また、前職で既存顧客に対してテレアポも行っていました。その際にクレームの電話を受けることもありましたが、クレームの裏には真に顧客が望むことが潜んでいるので、顧客の声に向き合いながら、顧客とともに課題の見える化を進めていました。公的機関の利用者も、潜在的な悩みを抱えていることが多いので、前職で経験したヒアリング力、課題解決に向けたアプローチ方法などは今の業務でも役に立っています。

Q. JEEDで活躍している中途採用者の特徴を教えてください。

A. コミュニケーション能力に長けた職員が多いかと思います。単純に会話が上手ということではなく、自分で企画を立ち上げ、周りを巻き込んで説明できること、企画を完遂できる力を持つ人です。このような職員と一緒に仕事をすると、モチベーションが上がるだけでなく、多くの学びがありますね。

Q. JEEDの職員に必要な素養はなんですか。

A. これは自身の理想も含まれますが「利他的」であることです。私たちの仕事は、自分ではない誰かのために、また、働くことに困っている人々のためにあるものです。このマインドを持ち続けられる人が、JEEDの職員に向いているのではないのでしょうか。

## ■ 前職:MR(JEED在籍5年以上、現業務 総務)



Q.前職について教えてください。

A.病院や医師に向けて医薬品の営業を行っていました。もともと、人と話すのが好きだったので、大学卒業からこの職種を希望していました。

Q.JEEDに就職を決めた理由を教えてください。

A.前職も傷病者の方々を守るという点では仕事にやりがいがありました。営利活動である以上、利益を求めることに軸足を置いての仕事となり、そこに違和感を感じていました。より公共性のある組織で仕事をしたいと考え、独立行政法人の採用募集を探していたところ、JEEDを知って応募しました。

Q.前業務で学んだこと、現在の業務に活かしていることは何ですか。

A.MRで働いていた時、官公庁ともお付き合いがありましたが、公的機関の方が業界用語で話される場面が多く、理解に苦慮していた場面が多々ありました。この経験を活かし、誰にでもわかりやすい言葉遣いや資料作成には気を遣っています。現在は総務業務に従事し、物品の納品や建物修繕等、日々様々な業者とのやりとりがありますが、相手の意図を汲み、相手が何を困っているのかを想定したうえで、JEEDの要望と業者の意向のすり合わせを行っています。JEEDに関わる全ての人が、JEEDと付き合っただけでよくなるように心がけています。

Q.中途採用者に求めることは何ですか。

A.コンプライアンス意識ですね。なななで中途半端な対応をする、文書の紛失等業務上での取り返しのつかない事故につながる事となり、結果、国民の皆さまへの信用失墜となります。どんな業務に対しても「人のため、利用者のため」というモチベーションをもって業務を進める気構えが必要だと思います。

## ■ 前職:WEBシステム開発(JEED在籍10年以上、現業務 職業リハビリテーション業務)



Q.前職について教えてください。

A.前職では、webシステム開発をしており、7年程度在籍していました。JEEDに入構して11年目になります。

Q.前職経験で学んだことについて、JEEDの業務で活かされていることを教えてください。

A. Webシステム開発においても顧客との折衝業務をしていたので、対人業務にも違和感なく対応することができました。前職で担当していた案件を管理するための計画の作成や、タスク管理、工数管理などはカウンセラーとして利用者の方の支援計画を検討する際や、支援の進捗管理等を行う上でも共通する部分があると感じています。その他、依頼された要件を定義づけし、設計から開発までの経験があるので、利用者や事業主から抽象的なニーズあった場合も、それらを整理、具体化して道筋を考えて対応するという点に役立っています。

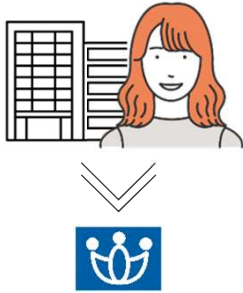
Q.JEEDで活躍している中途採用者の特徴を教えてください。

A.他の業界や職種で培った知識や経験をもっているため、支援や業務などでこれまでとは異なる新たな対応を考えなければならないような場合に、それぞれの前職での経験や知識も惜しみなく活かしているように思います。

Q.中途採用者に求めるものは何ですか

A.時代やニーズの変化があり、職業リハビリテーションサービスもその変化に応え、変化していくことが必要となります。それぞれの前職で培ったビジネスロジックや知識、スキル、ノウハウなどを業務や組織に還元し、必要な変容を促していただきたいです。

## ■ 前職：地方労働局 職員(JEED在籍5年以上、現業務 総務)



Q. 前職について教えてください。

A. 地方労働局にて事業主向けの各種助成金審査業務、高齢・障害者の統計調査、障害者就職面接会等就職イベントの運営などを行っていました。それ以前は運送会社の事務、国立大学にて文部科学省科学研究費補助金の申請、執行、報告業務等を行っていました。

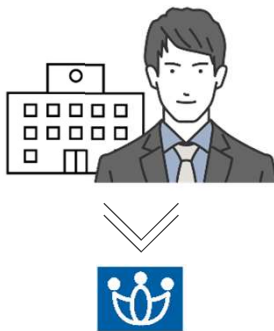
Q. 前職経験で学んだことについて、JEEDの業務で活かされていることを教えてください。

A. 私は、比較的転職歴が多く、これまでに総務や経理、助成金審査等の様々な職種を経験してきました。これまで経験し、学んだ知識やノウハウを現在の業務に活かしていくことは勿論ですが、新しい環境での仕事に飛び込み、周囲と協調していくこと等、転職経験そのものが現在の業務に活かされていると思います。JEED職員は、人事異動により様々な施設や部署に配属されるため、異動があれば転職したかのように、新しい環境下で新しい業務を上司や同僚と協力して行うことも多々あるからです。業務において様々な業種の企業とやり取りする場面が多いため、民間経験があることで企業側の立場や気持ちに立てることは色々な場面でスムーズな業務遂行に繋がるように感じます。

Q. 出産・育児のご経験があると伺いましたが、JEEDの働き方について教えてください。

A. 妊娠・出産に係る育児休業等各種制度は整っており、育休については女性だけでなく男性も取得しやすい環境にあります。JEEDは転勤制度がありますが、同じJEED職員である夫と同居しており、お互い通勤が可能な施設に配属してもらえています。また、福利厚生団体に申請することで、出産祝金や育休中に受給できる独自の手当なども大変助かりました。現在、産休・育休を経て、育児短時間勤務(5時間勤務)を申請し、子供が1歳を迎えた後、復職しました。夫の勤務施設が隣県のため、短時間勤務を取得した私が朝出勤前に子供を保育園へ送り、勤務終了後に保育園へ迎えに行っています。まだ子供が小さいため熱を出したりすることも多く、お休みをいただくことも多々ありますが、上司や同僚の方は快く受け入れてくださり、子供の体調を心配して声掛けをいただいています。繁忙期であっても子供が熱を出せば休まなくてはならず、残業もできないため、業務にはなるべく早めに取り掛かったり、期限を早めるなど計画的な業務遂行が求められますが、職場の方々が積極的にフォローして下さるのでとても助かっています。

## ■ 前職：講師(JEED在籍10年以上、現業務 職業リハビリテーション業務)



Q. 前職について教えてください。

A. フリースクールの講師として2年勤務したのち、JEEDに入構しました。

Q. JEEDへの転職理由、前職での経験を教えてください

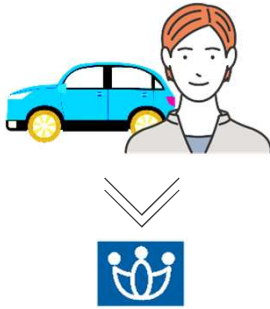
A. 前職では、上司(校長、教頭)や同僚(他の講師)と相談しながら、主に発達障害のある学生を対象に集団や個別授業を行ない、定期的に保護者と面談を実施することが業務の中心でした。関わった障害のある学生たちが、その後どのように働いていくのだろうかということに関心を持ち、転職を考えました。「相談しながら仕事を進めていくこと」や「相手のことを考えて分かりやすく伝えること」という前職で得た経験は、現在の業務にも活かすことができている。これまで全く異なる業種で働き、JEEDに入構された方も、皆さんそれぞれの職種で活躍されている印象があります。それぞれ経験したことを上手く業務に活かしているのだと思います。

Q. 中途採用者に求めることは何ですか

A. 業種に関係なく、上司や同僚とコミュニケーション(相談しながら仕事を進められる)が積極的にできる人、新しい環境にも飛び込んでやってみようというマインドがあることなどが求められるように思います。



## ■ 前職:自動車販売・営業(JEED在籍8年以上、現業務 経理)



Q.前職について教えてください。

A.自動車の販売、営業を行っていました。

Q.前職経験で学んだことについて、JEEDの業務で活かされていることを教えてください。

A. 社内外との調整・折衝能力が役に立っています。ほとんどの営業職に言えることだと思いますが、ただ座っているだけでは売上目標を達成することはできません。前職では、管轄するエリアの市場調査、全国の顧客動向、自社の在庫管理から広報、営業等の販売戦略、これらすべてを一つのストーリーとして組み上げ、社内外へ説明し、売上を達成することが求められました。売上目標のために、短納期での業務遂行やタフ・ネゴシエーションの場面といくつも向き合いましたが、数多くのピンチを凌いだ経験が今は財産となっています。

Q.中途採用者に求めるものは何ですか。

A. 人にもまれる、多くの成功体験と失敗体験がある方と働きたいですね。成功と失敗を数多くしてきた人はそれだけ仕事でチャレンジしてきた方だと私は考えます。民間企業の方が厳しい面、JEEDのような公的機関のほうがシビアな面、それぞれありますが、仕事に真摯に向き合い、粘り強く取り組んできた人は業界問わず信用できますし、このように仕事を取り組んできた方はあらゆる職場で信頼を勝ち得るのではないのでしょうか。また、JEEDはある一定人数の民間経験のある職員がおりますが、新卒でJEEDに入構したという職員も数多くいます。民間企業を経験した職員であればこそ、利用者である企業の担当者の悩みに共感し、強い説得力を持つ言葉をかけられる場面も数多くあり、より企業に近い目線でサービスを提供できると思います。ぜひ、いろいろなバックヤードをお持ちの方と働いてみたいですね。

## ■ 前職:ホテルのフロント業務(JEED在籍5年以上、現業務 職業能力開発支援業務)



Q.前職について教えてください。

A.ホテルのフロントとして、宿泊予約等の対応業務及び接客業務を行っていました。首都圏のホテルで勤務していたので、近年のインバウンドの影響から、外国人の対応も数多く経験しました。

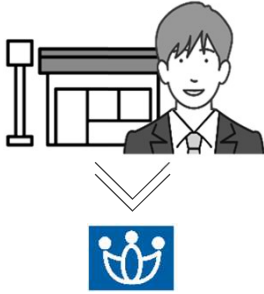
Q.前職経験で学んだことについて、JEEDの業務で活かされていることを教えてください。

A.特に活かされているのは接客経験です。利用者はJEEDに期待してお問い合わせをされることがほとんどです。利用者の属性も、お問い合わせの内容やそれに付随する課題も多種多様ですので、その中から潜在的なニーズを掴み、より適切なサービスへ誘導することを心掛けています。JEEDの業務を把握されずにお問い合わせされることもありますので、JEED全体の業務理解はもちろんのこと、公的機関の職員としての傾聴力や接遇能力、説明力が望まれます。利用者一人ひとりとのコミュニケーションをおろそかにしない、丁寧な対応に心がけています。

Q.中途採用者に求める能力は何ですか。

A.私見として、新卒で入構した職員は、公的機関の職員の能力として文書作成能力や法令を読み解く力が特に長けていると思います。その一方、アーティスティックな能力を持つ職員が民間に比べると少ないと感じる場合があります。業務内容で言うと、広報力や企画力でしょうか。よりJEEDのサービスを多くの人にお伝えし、ご理解していただくためにも、JEEDにとって広報力の強化は重要な課題です。広告媒体も既存のポスターからSNSに至るまで、利用者属性やTPOに応じたものを適切に用意することが求められます。広告業界の経験がある方、広告作成能力や業者との折衝経験をお持ちの方など、活躍できるのではないのでしょうか。広告業界を一例に出しましたが、JEEDでは多種多様な課題解決をするために、様々な経験を持った人材を求めています。JEEDの業務に興味を持たれた民間企業経験のある方には、ぜひ応募の検討をしていただきたいです。

## ■ 前職:小売業(JEED在籍5年以上、現業務 企画)



Q. 前職について教えてください。

A. ドラッグストアの店舗運営において、顧客対応、在庫管理等をしていました。

Q. 前職経験で学んだことについて、JEEDの業務で活かされていることを教えてください。

A. 前職で求められた、利用者のニーズに応じた丁寧な接客対応は、取引先の企業の対応やJEED内部や官公庁、関係機関との折衝等、JEEDの業務でも活かされていると感じています。また、JEEDのブランドメッセージには、働くことを希望する全ての人々の「らしく、はたらく、ともに」の実現に貢献していくという思いが込められていますが、民間企業での勤務経験が、利用者の皆さまに寄り添った視点で業務を可能とし、利用者の方々「らしく、はたらく」ための一助となっていると思います。

Q. JEEDに就職してライフスタイルの変化はありましたか。

A. 仕事と余暇の両立について、前職では土日祝日や夜間の勤務が日常的にあり、長期の休日が申請しづらい等の悩みがありました。JEEDでは第一子の誕生に際し、特別休暇や育休を取得できる等、ワークライフバランスがとれていると感じます。特に、育休については、制度の存在だけでなく、取得を推奨するような職場の雰囲気や醸成されており、男性の育児休暇取得の決め手となりました。職場と家庭のワークライフバランスの両立が、JEEDでの仕事のモチベーション向上にもつながっていると感じます。

## ■ 前職:消防行政(JEED在籍3年以上、現業務 総務)



Q. 前職について教えてください。

A. 消防職員として、消火・救急・救助活動や地域の防災業務、建物の立ち入り検査等の査察業務、火災調査、採用や任免等の人事関連の業務を担当していました。

Q. 前職経験で学んだことについて、JEEDの業務で活かされていることを教えてください。

A. JEEDの施設では、多種多様な利用者の方が来所中に災害に見舞われることを想定し、災害時に適切な対応を行うため、防災マニュアルを作成しています。前職で学んだ防火防災の専門的な知見を活かして、防災マニュアルの見直しを行っています。実際に火事場や救急現場に出動した経験から、どこが危険となりやすいポイントなのかわかるほか、消防法等の関係法令や消防用設備の知識をもとに、施設設備の適切な維持管理を行っています。また、管轄の消防職員と話し合いながら防災計画の見直しをしたり、勤務するポリテクセンターが地域の避難場所に指定されていることから、災害時の対応について話し合いをしたりしています。ポリテクセンター、ポリテクカレッジは製造業の現場であり、ほとんど工場と同様の機能を有しているので、石油やガスを取り扱うことから、危険物取扱者などの資格も役に立ちます。

Q. 中途採用者に求めるものは何ですか。

A. JEED職員はみなし公務員となりますので、公的機関で勤務する意識を持つことは必須ですね。細かいところだと職員同士での施設内における言動や立ち振る舞いなど、利用者の方は思いのほか職員のことを見えています。そのように聞くと非常にカタク、プレッシャーに感じられるかもしれませんが、ほかの市役所、区役所でも同様で、公共の組織で働くことの意識は最低限必要かと思えます。心構えとしてはそのようなところですが、実践能力としては法令を読む仕事をされていた方はアドバンテージがあるかもしれません。公職の経験がある方は、法令の読み取り方や公文書の書き方等のポイントを把握されていると、文書作成業務に活かされる機会があるかと思えます。もちろん、この能力はJEEDの業務を通じて自然と身につくものなので、そのような経験がない方でもご安心ください。

## ■ 前職: 広告営業(JEED在籍5年以上、現業務 職業能力開発支援業務)



Q. 前職について教えてください。

A. スポーツ関連の雑誌社の広告営業をしていました。

Q. 前職経験で学んだことについて、JEEDの業務で活かされていることを教えてください。

A. 前職の広告営業では、売り上げ確保のための営業手法を学ぶことができました。具体的にはクライアントとの関係構築、商材やマーケットの分析などですね。雑誌広告の受注を得るために、雑誌がどの年齢に訴求しているのか、また今後の市場動向や企業と読者のニーズにズレがないか等を注視していました。所属していた雑誌社が紙からWEBへ媒体の移行期間の真ただ中にあっただので、WEBコンテンツの企画開発等、本当に色々な経験ができましたね。このような広告営業、企画開発として培った経験は、現在携わっている在職者訓練にも活かされており、利用者層の分析やどこに適切に広報を打てばよいか等、広報戦略に役立っています。

Q. 中途採用者に求めるものは何ですか。

A. 現在の業務でいえば「営業力のある人」でしょうか。公的機関と営業という言葉は相反するように思われますが、JEEDの業務、特に雇用支援業務に携わる部署は業務実績を求められます。また企業への支援実績なども問われることが多いので、時代とともに高度化、複雑化して変わりゆく支援内容を専門職とともに勉強しながら、きちんと企業や利用者へメリットを説明できることが大切です。よくコミュニケーション力が大事といわれますが、的確な分析力と行動力がある中途採用者の方は即戦力になると思います。

## ■ 前職: イベント運営・営業・広告(JEED在籍8年以上、現業務 高齢・障害者雇用支援業務)



Q. 前職について教えてください。

A. 国際的なスポーツイベント、マラソンや自転車のロードレース、トライアスロンなどの総合プロデュース(営業、広報、イベント運営)を行っていました。

Q. 前職経験で学んだことについて、JEEDの業務で活かされていることを教えてください。

A. 国際的なマラソン大会では、数万人の参加者、それに匹敵する大勢のスタッフや関係者、観客等が介在します。大規模イベントを行うためには、アルバイトやボランティア、公共団体、警察、消防、医療機関、著名人等のゲスト、協賛企業、マスメディア等、多種多様な関係者を円滑に動かすためのディレクション能力が求められます。ディレクションにおいて、各所とのコミュニケーションを円滑にするために必要なものは、誰でも一目で理解できる、簡潔でわかりやすいマニュアルです。関係者それぞれが指揮系統の元、各人の持ち場で自律的に動き、現場を回していくことがイベント運営において求められます。マニュアル作成においては、要点をまとめることはもとより、写真やイラストなどのビジュアルで直感的かつ的確に、スケジュール通りに人を動かさなくてはなりません。このマニュアル作成の経験や現場のディレクション経験は、JEEDのイベント運営はもとより、部下指導、各種研修、企業へのプレゼン等、人材育成から外部折衝まで、幅広い場面で活かされています。

Q. 中途採用者に求めるものは何ですか。

A. それぞれの業界で培った専門的な経験値ですね。私自身を例に出しますと、前職の広告営業で、Webデザイナーやイラストレーター、協賛企業、マスコミ関係者等、幅広い業界と付き合いきた経験が活かされています。JEEDにおいても広告発注など、そのような業界の方々と接する場面があります。広告作成の企画立案、行程管理において、この予算内で何ができて何ができないのか、この制作物に対して予算と納期は適切か、受注側が知りたいこと、困ること等、発注時のポイントが理解できていることで受発注が円滑に進みますし、工期に余裕が生まれることで、広報物の質を上げる、新企画を打ち出す等、新しい取り組みにも繋がります。JEEDの利用者は多様であり、業務内容も法的な知識を求められることからイベント運営まで幅広くあります。民間企業を経験された方は、どのような業界経験であれ、今まで培ってきた経験値が無駄になることはないと思います。